

継続的な成長の基盤づくりを目指して

ユーザーの皆様には良い製品を、株主の皆様には安定的な利益を、取引先の皆様にはともに発展を。
カシオはステークホルダーの皆様とともに、継続的な成長を目指します。

●収益性重視の経営

株主の皆様からお預かりした資本を最大限に活かして社会へ利益をもたらすため、カシオは収益性を重視した経営をおこなっています。営業利益率の向上を目指し、全社で取り組みを進めています。

売上高の推移

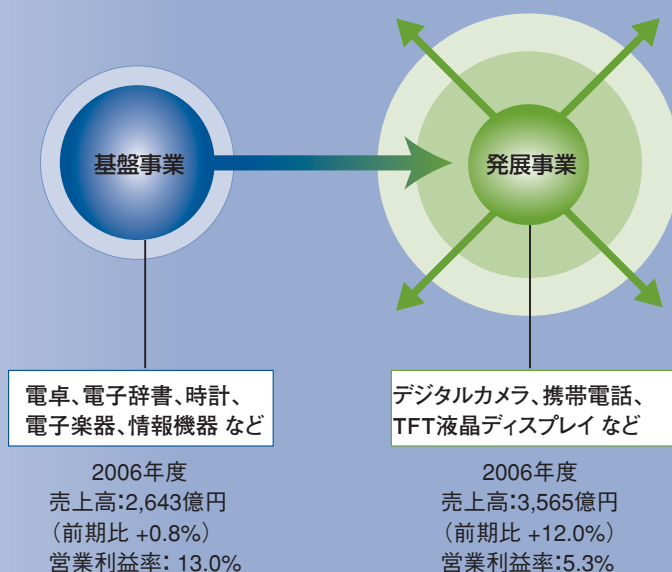


営業利益率の推移



●安定と成長の両立へ

カシオは市場で高いシェアを獲得し、安定的な収益を得ている事業を「基盤事業」、マーケットが今後世界的に拡大していくことが見込まれる反面、参入企業数も多く競争が激化している事業を「発展事業」と位置づけています。「基盤事業」で安定的利益を獲得しながら「発展事業」の売上高・営業利益を拡大させ、成長性と収益性を安定的に確保できる経営を推進しています。



●主な事業の現在

デジタルカメラ

年間販売台数 **600万台** (2006年度実績)

デジタルカメラ市場を創造したカシオは小型・薄型化技術を活かし、スタイリッシュ・コンパクト市場を常にリードしています。



デジタルカメラ 販売台数の推移



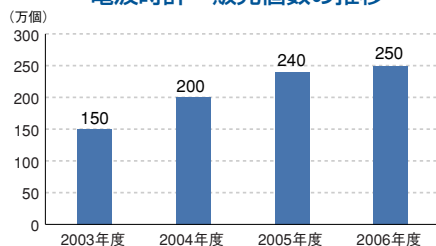
電波時計

世界シェア **1位** (カシオ調べ)

カシオは全世界に年間3,300万個(2006年実績)の時計を販売しています。近年は時刻合わせが不要な電波時計に注力しており、時計の売上高に占める割合は金額で45%になっています。電波時計のシェアは世界第1位となっています。



電波時計 販売個数の推移



G-SHOCK

累計販売個数 **6,000万個以上**

カシオのタフネス技術が結集した防水・耐衝撃時計G-SHOCK。1983年のデビュー以来、世界100か国以上で腕時計の単一ブランドでは希有といえる累計6,000万個以上を売り上げています。2007年には発売25周年に向けた記念モデル「Dawn Black」が発売されました。



携帯電話

顧客満足度 **2年連続1位**

J.D.パワー アジア・パシフィックの携帯電話に関する顧客満足度調査において、カシオの携帯電話は総合満足度で、2年連続ナンバーワンになりました。

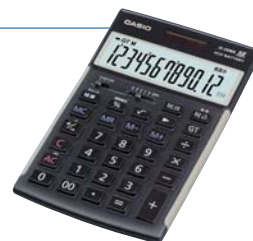


出典：J.D. パワー アジア・パシフィック2005～2006年日本携帯電話端末顧客満足度調査SM。2006年調査は携帯電話機購入後1年以内のユーザー3,187名からの回答による。www.jdpower.co.jp

電卓

累計販売台数 **10億台**

2006年12月、カシオの電卓は1965年の電子式卓上計算機第1号「001」より数えて、累計販売台数10億台を達成しました。莫大な需要を生みだし半導体産業の発展にも貢献した電卓は、関数電卓や教育用電卓などに発展しながら、世界中で愛用されています。



電子辞書

国内シェア **1位**※

学生向け、社会人向けなど、多様なニーズに合わせて幅広いラインアップを揃え、手書き認識・ネイティブ発音など先進的な機能を備えた電子辞書は、国内市場で過半数のシェアを獲得しています。



※2006年1月～12月メーカー別数量シェア
全国有力家電量販店での販売実績を集計するGfK JAPAN調べ

電子ピアノ

国内シェア **1位**※

リアルなタッチなどの確かな演奏性と優れた音質が高い評価をいただいている電子ピアノは、国内シェアナンバーワンを獲得しています。



※2006年1月～12月メーカー別数量シェア
全国有力家電量販店での販売実績を集計するGfK JAPAN調べ